

令和2年度「ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクト」
読書活動支援者育成事業

第1回 会津地区研修会

会津教育事務所

- 目的：地域で子ども読書活動を推進するボランティアの資質向上を図り、各地域で活躍する読書活動支援者を育成する。
- 日時：令和2年9月26日(土) 10:00~12:00
- 場所：会津若松市文化センター
- 参加者：55名

【実践発表】読書活動へとつながる幼児期における読み聞かせの実践報告
会津大学短期大学部幼児教育学科講師 渡部琢也氏 「あそびサークルの皆様」

○活動の内容 (学生サークル主導)

- ① TSUTAYA 滝沢店との連携
絵本が決定したら、手遊びを決める。(絵本の導入として有効)
※手遊びは動画等を参考にして練習している。
- ② 新型コロナウイルス感染拡大防止のために読み聞かせをする機会が減少
→動画で配信



○読み聞かせ動画の配信について

- ① TSUTAYA 滝沢店と協力して出版社に著作権の許可を得る。
絵本の読み聞かせと手遊びの動画を撮影する。(5分程度のもの)
※配信するものなので、何度も何度も納得のいくまで撮影し直す。
スマホ1台で撮影編集ができる。この時代ならではのスマホを有効活用



【参加者の声】

- コロナ禍の中での新しい読書活動の形の参考となりました。
- 手遊びから読み聞かせ、そしてまたちょっとした遊びと、工夫しながら子どもに接することが大切だということがよく分かりました。

【講演】「本と子どもを結ぶために～移動図書館あづま号での出会いから～」
福島県立図書館企画管理部企画協力班 主任司書 遠藤 豊 氏

- ① 移動図書館あづま号って？
- ② 移動図書館で子どもたちによく聞かれる人気の本・テーマ
- ③ 移動図書館や図書館活動支援貸出でよく利用される本
○トップ10の傾向、調べ物でおすすめの本5選
- ④ 多様な本を読むメリット
- ⑤ 子どもたちが本を読む環境づくり

【参加者の声】

- 読書推進の仕事は奥深いものと思いますが、実際の活動の中から、分かり易く有意義なお話を伺ってよかったです。
- よく読まれている本のベストテンとたくさんの本を用意して下さい、情報を頂けました。いろんなジャンルの本に目を向けるようにしたいです。
- 学校だけでは資料を十分に揃えられないので公立図書館に頼ることを後押しして頂いたように感じました。



